

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)相模原市緑区橋本2丁目計画Ⅱ	階数	地上8F
建設地	相模原市緑区橋本2丁目352番2,3	構造	RC造
用途地域	第二種住居地域、準防火地域	平均居住人員	344人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年12月 予定	評価の実施日	2022年7月7日
敷地面積	3,083㎡	作成者	株式会社 現代総合設計
建築面積	1,298㎡	確認日	2022年7月7日
延床面積	6,722㎡	確認者	株式会社 現代総合設計



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.5

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆ 80%: ☆☆☆ 100%: ☆☆ 100%超: ☆

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.4

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.7

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.4

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.0

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.5

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.4

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合 住宅内では、設備機器に関して省エネ性の高いものを採用し、環境への配慮を行う。 断熱等性能等級4を取得し、断熱性能を確保している。		その他
Q1 室内環境 住戸の昼光率を高めに設定し、また、カーテンや庇(バルコニー)を採用するなど光・視環境に配慮している。 F☆☆☆☆建材を全面的に採用するなど空気質環境にも十分配慮している。	Q2 サービス性能 品化法の劣化対策等級3、設備は耐用年数の長い配管材を採用し建物の長寿命化に配慮している。	Q3 室外環境(敷地内) 緑地を設けることにより、良好な景観を形成している。
LR1 エネルギー 断熱性能を省エネルギー対策等級4相当、潜熱回収型給湯器、LED照明設備を採用することで省エネルギーに配慮している。	LR2 資源・マテリアル 非構造部材にリサイクル材を使用することにより、非再生性資源の使用量削減を行っている。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率を参照値より抑制し、地球温暖化への配慮をしている。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される